

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

施設名 山梨県立あけぼの医療福祉センター成人寮

所管課 福祉保健部 障害福祉課

指定管理者 社会福祉法人山梨県障害者援護協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度				委託料総額 (単位:円)
指定管理者名	出資 法人	指定期間			
社会福祉法人山梨県障害者援護協会		H18.9.1	～	H28.3.31	9年 7ヶ月
社会福祉法人山梨県障害者援護協会		H28.4.1	～	R3.3.31	5年
社会福祉法人山梨県障害者援護協会		R3.4.1	～	R7.3.31	4年
					2,487,000

2 施設の概要

所在地	韮崎市旭町上條南割3251-1
設置年月日	昭和48年4月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例
設置目的	身体障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。
主な業務の内容	(1)施設等の維持保全に関する業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 (2)利用者に対する障害福祉サービス業務 ・生活介護、短期入所、自立訓練(機能訓練)及び施設入所支援に係る業務を行う。
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積:9,060㎡ ○建築延べ面積:3,194.32㎡ ○施設の内容 ・肢体不自由者更生施設棟(鉄筋コンクリート造平屋建)3,002.29㎡ ・温室(鉄骨造平屋建)110.25㎡ ・農作業保管庫・陶芸室(鉄骨造平屋建)81.78㎡ ○各障害福祉サービスの定員 ・生活介護:45人 ・短期入所:15人 ・自立訓練(機能訓練):15人 ・施設入所支援:40人
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
収入合計	208,388,619	211,938,988	216,532,445	210,165,342	219,616,112	
支出合計	202,203,273	208,079,894	205,831,099	211,008,777	216,192,085	
収支差額	6,185,346	3,859,094	10,701,346	△ 843,435	3,424,027	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
利用実績	105人	107人	106人	103人	109人	各障害福祉サービスの月平均利用者数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和4年度)

令和3年度に協会が策定した「第5次中期経営計画」(令和4年度～令和8年度)、「社会福祉充実計画」(令和4年度～令和13年度)及び施設の管理運営方針に沿って、実施事業である自立訓練(機能訓練)、生活介護、施設入所及び短期入所の各事業において、利用者に安心・安全なより質の高いサービスを提供した。

自立訓練事業では、利用期間の1年6ヶ月の間に訓練目標を達成するために、ご本人、ご家族及び関係機関と連携し、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が中心となり、訓練メニューの充実を図り、サービスの向上に努めた。また、利用期間が定められている事業であり、常に新規利用者の獲得が必要のため、リハビリ病院等関係機関との繋がりを強化し、利用者確保に努め、利用率の向上に繋げた。

生活介護事業では、利用者の機能低下による転倒などが多く、骨折により入院する事例が見られた。また、緊急的な医療の関わりが増加したが、早期発見等に努め、重症化する前に対応することができた。益々、支援ニーズが複雑化・多様化する中において利用者個々の状況に応じた個別対応を心掛けた。外部講師による日中活動は中止したが、他の活動や行事においては、コロナ禍での制限を受けながらも、創意工夫を凝らしたメニューを提供し、利用者の満足度向上を図った。

医務関係では、基礎疾患を抱えている利用者が多いことから、日常生活動作や体調の変化の早期発見に努め、円滑な受診行動をとることで適切な治療を受けることができた。また、利用者に正しい手指の消毒やマスクの着用等を指導し、感染防止に努めた。

管理面では、利用者が単独で離床する際の転倒が多くなったことから、県の介護ロボット補助金事業を活用して導入した離床センサー付き介護ベッドを有効活用した。センサー付きベッドは、離床時にナースコールへ連動し、より迅速な支援が可能となっている。

また、感染症対策にあたって、必要となる衛生用物品・抗原検査キットの購入及び衛生的に保管するための倉庫類の整理。更に県の補助事業を活用し、利用者が集まる食堂や活動室へ高性能空気清浄機11台を追加購入してエアロゾル対策に努めた。

新型コロナウイルス感染予防対策では、国や県の指導及び感染状況を踏まえ、利用者並びに職員の検温など健康観察の強化、活動内容の変更や面会・外出・来所者の制限等を機会あるごとに見直しながら感染予防対策を継続してきた。県内でも複数の福祉施設からクラスターが発生し、利用者支援と施設運営に大きな脅威となったが、感染防止対策を徹底しながら利用者へ福祉サービスを継続することができた。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和4年度)

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、施設の維持管理や利用者へのサービスの提供を適切に行った。

本施設は、障害者入所施設であることから、施設内感染が拡大すると、利用者の健康や施設の運営等に甚大な影響が生じる恐れがある。職員や利用者への早期のワクチン接種を呼びかけ、感染拡大期には職員に原則週1回のPCR検査を行うよう要請し、感染拡大防止を図った。また、職員や利用者に感染疑いが生じた場合は、直ちに状況を報告させ、陽性が確認された場合には必要な対応を指示することとした。

また、利用者満足度調査の結果、「満足・どちらかといえば満足」の割合が96%と、高い水準を維持しており、利用者の立場に立った支援を行っている

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和4年度)

基本的な感染対策や早期のワクチン接種、職員のPCR検査を実施した。また、感染疑いが生じた場合に直ちに関係機関に連絡することとした。結果、新型コロナウイルス感染症の影響が施設内に広がることや、運営に大きな支障が生じること等もなく、利用者へのサービスの提供を継続することができた。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

施設名 山梨県立あけぼの医療福祉センター成人寮

所管課 福祉保健部 障害福祉課

指定管理者 社会福祉法人山梨県障害者援護協会

1 利用状況

(単位:人、%)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	生活介護	42	41	42	42	45
	短期入所	18	14	14	14	13
	自立訓練(機能訓練)	8	15	13	10	12
	施設入所	37	37	37	37	39
	利用者数合計	105	107	106	103	109
	目標値	115	115	115	115	115
	実績/目標割合	91.3%	93.0%	92.2%	89.6%	94.8%
	目標値の設定方法	定員を目標値とする				
利用率	稼働率等(利用率)	91.3%	93.0%	92.2%	89.6%	94.8%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数/施設の利用定員				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみの家:自立訓練(通所 20人、夜間 20人)、短期入所(2人) ・梨の実寮:生活介護(52人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(12人)、施設入所支援(50人)、短期入所(6人) ・あさひワークホーム:生活介護(40人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人) ・育精福祉センター成人寮:生活介護(105人)、短期入所(9人)、施設入所支援(90人)
----------	--

3 補修工事等の状況(令和4年度)

(単位:円)

管	防犯カメラシステムHDD等取替修理	250,800
管	浴室・食堂水栓修理	69,300
管	スタンディングマシンベルト交換修理	27,225
管	起立リフトイージーアップピン折れ部品交換修理	20,328
管	浴室リフト漏電修理 他1件	20,900

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和4年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
1	随意契約	25.463円/本	158,482	
1	随意契約	30.556円/本	122,927	
1	随意契約	20円/本	66,340	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	調査対象者: 入所・通所利用者(日中事業:生活介護・自立訓練利用者)対象 調査方法: 聞き取り及び自己記入 調査期間: 令和5年3月10日～3月17日 調査人数: 52人			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設設備	63.0%	27.0%	8.0%	2.0%
プライバシーや個人情報の保護	74.0%	26.0%		
食事の内容	56.0%	32.0%	10.0%	2.0%
職員の対応の仕方	52.0%	38.0%	8.0%	2.0%
支援内容(訓練・活動以外)	54.0%	40.0%	6.0%	
訓練・療法・活動内容	44.0%	44.0%	6.0%	6.0%
総合的な感想	46.0%	48.0%	6.0%	
施設全般の満足度	90.0%	6.0%	3.0%	1.0%
利用者の主な意見	<p>【施設設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレが少ない。洗濯場や浴室脱衣場が狭い。 ・建物が広すぎる。 <p>【食事内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常食と制限食とでは、メニューが違うことがあるので同じものを食べたい。 ・パンを週2回は食べたい。 ・ごはんやおかずの量に多い、少ないがある。 ・時間通り配膳されないことがある。 <p>【職員の対応の仕方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やってほしいことが十分ではないことがある。 ・一部の職員の対応が悪く不満に思うことがある。 ・よく話を聞いてくれない。 			
利用者の意見への対応	<p>【施設設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ増築、洗濯場・浴室脱衣場の設備については、大規模な修理となるため、利用者本人の考えも聞いた上で工夫して使用できる方法を提示した。 ・平屋建物の構造上、また歩行訓練にも活用しているため、広い造りや長い廊下となっている旨を説明。 <p>【食事内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調管理の観点から、食事形態や低エネルギー食は、利用者の了解を必ず得て提供を行っている。 ・センターとの給食委員会を定期的実施し、利用者からの要望を伝達し、可能な範囲で改善をお願いしている。 <p>【職員の対応の仕方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援員の接遇や支援方法については、接遇向上委員会により、職員個々の対応を振り返る調査を実施し、改善を図るよう努めている。また、評価の低い項目については、強化月間を設けて対応している。 			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>利用者の安全とともにサービスの提供が円滑に行われるよう、建物・施設周辺を管理担当職員が主体となって、設備等の保守管理に努めた。併せて年度末には、1級建築士による建物設備の法定点検を実施した。</p> <p>また、消防防災設備については、防災担当者が毎月自主点検を実施。火災報知器・非常通報装置などの特殊機器は、委託した専門業者により定められた期間ごとに法定点検を実施した。</p>	<p>概ね適正に維持管理が実施されている。長寿命化点検、建築基準法に基づく点検等の点検結果を踏まえ、必要に応じて整備を計画・実施されたい。</p> <p>また、防災訓練・水害訓練等を、新型コロナウイルスの影響を鑑みながら、可能な時期に行うこと。</p>
運営業務	<p>利用者及び家族に対し、施設が掲げる当該事業の基本方針や支援内容をわかりやすく説明するとともに、目標達成に向けた個別支援計画に基づいた支援を提供した。</p> <p>職員は、虐待防止チェックリストを活用し、自らの支援姿勢や態度を省みて、より質の高いサービスの提供に繋げた。調査の結果については、虐待防止委員会で検証し周知を図った。</p> <p>衛生面では、新型コロナウイルス感染の防止対策について、家族等に情報を提供しながら理解と協力を求めた。</p>	<p>概ね適正に運営されている。新型コロナウイルス感染症の影響は弱まりつつあるが、感染対策にも配慮しつつ、適正な運営に努めること。</p>
利用状況	<p>ホームページは、担当職員により速やかに情報を更新し、施設利用促進のためのPRとリアルタイムでの事業実施状況を発信した。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染防止対策についても公開し、関係者へ向けて安心・安全な情報を提供した。</p> <p>自立訓練にあつては、有期限の事業であるため、新規の利用者獲得に向け、リハビリ病院や関係機関との関係を強化し、安定した利用率の確保に努めた。</p>	<p>施設利用率は、概ね高い水準を維持している。引き続き利用者の確保に向けた対応を実施していくこと。</p>
収支状況	<p>収入については、昨年度落ち込んだ自立訓練事業や生活介護事業の利用者増により増収となった。また、県より電気料金高騰による差額分を委託料として受けることができた。</p> <p>支出は、昨年にも増して電気代や燃料費の高騰となったが、消耗品の節約により事務・事業費では昨年並みに抑えることができ、結果的に昨年は収支マイナスだったものが厳しい状況の中で収支プラスとすることができた。</p>	<p>物価高騰の影響もあり、支出については今後も厳しい状況が続くと思われるが、これまで同様、経理状況の安定に努めること。</p>
自主事業		

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

<p>利用者満足度</p>	<p>施設設備や支援内容等について、満足度調査では96%の利用者から「満足・どちらかといえば満足」との回答をいただいた。</p> <p>改善の困難な要望等に対しては、その理由と事情について、利用者に丁寧に説明し、納得していただけるよう心掛けた。</p> <p>また、施設内の接遇面においても職員の自己チェックを活用して振り返るとともに、評価の低い項目にあつては、改善のため強化月間を設けて対応した。</p>	<p>どの設問においても、「どちらかといえば満足」以上が96%を占めていた。施設利用者の満足度は高いと思われる。</p> <p>引き続き利用者の立場に立った運営を行うとともに、改善が可能な要望への対応を検討していくこと。</p>
---------------	---	--

8 施設所管課による定期評価結果

<p>施策推進業務の内容</p>	<p>評価</p>	<p>改善内容</p>
<p>施設利用者の満足度向上のための取組み</p>	<p>利用者満足度調査結果の「施設全体の満足度」における「満足・どちらかといえば満足」の割合を評価指標として、目標値を80%と設定。</p> <p>職員会議等における調査結果の共有や利用者への丁寧な説明等を行い、「満足・どちらかといえば満足」の割合がいずれの設問においても88%以上となつて、目標を達成した。</p>	<p>満足度調査結果の分析や職員による検討会を行う等、引き続き利用者の要望に可能な限り対応すること。</p> <p>他の項目と比較して「満足・どちらかといえば満足」の割合が低い「食事」「訓練活動内容」について、可能なことについては改善を図り、改善が困難なことについては、利用者に丁寧に説明し理解を得るよう努めること。</p>
<p>感染症対策</p>	<p>本施設は入所施設であることから、施設内に新型コロナウイルス感染症の感染が拡大すると、利用者の健康や施設の運営等に甚大な影響が生じる恐れがあるため、職員や利用者への早期のワクチン接種を呼びかけるとともに、感染が拡大した時期には、職員に原則として週1回のPCR検査を行うよう要請した。</p> <p>PCR検査検体の提出日における提出割合を評価指標とし、目標値を100%と設定。</p> <p>結果、提出割合は100%となつたこと等により、施設内での感染拡大は発生せず、運営に支障を来すことはなかった。</p>	<p>令和5年5月以降は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類となるが、多数の者が施設を使用することから、引き続き感染対策を実施されたい。</p> <p>また、感染者が発生した場合の対応内容について、確認しておくこと。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和4年4月1日現在

